

フードバンク活動モデル事業報告

平成28年度・平成29年度の実施報告

平成29年度フードバンク推進シンポジウム in 北九州 発表資料

平成30年2月1日(木) 黒崎ひびしんホール 中ホール

発表:生活協同組合連合会 グリーンコープ連合

常務理事 協同地域事業本部

河嶋 敏秀



1. はじめに

○事業の内容

食品企業等から食品（規格外品等で販売困難だが衛生上十分食用可能）の提供を受け生活困窮者等に届けるフードバンクのモデル事業を実施し
活動上の課題の検証とモデル化を実施 する

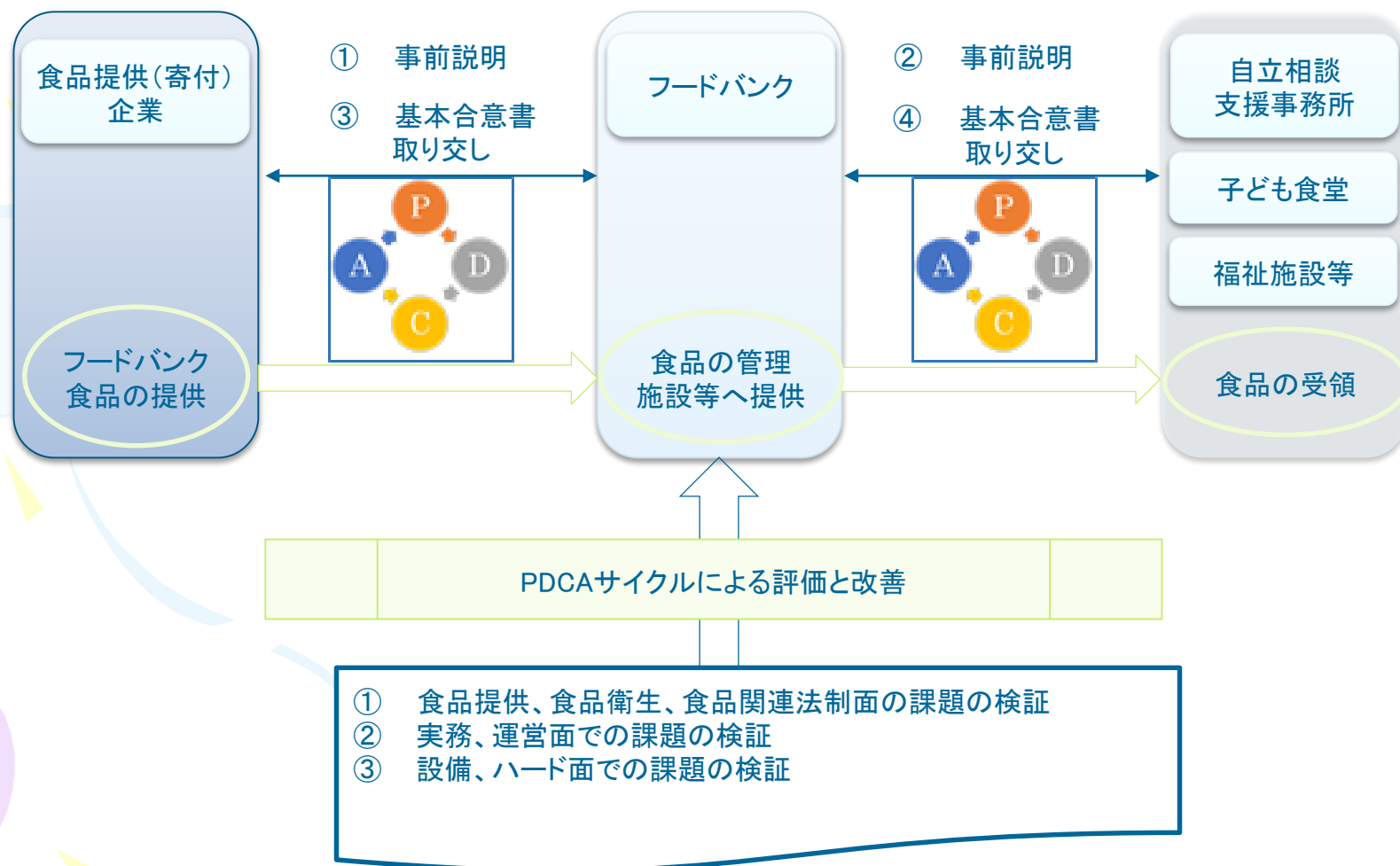
□ モデル事業では、県内のフードバンク活動の普及・促進を図る上での課題を大きく3つのポイントに分けて検証を行いました。

- フードバンク食品の提供と、食品衛生、食品関連法制面の課題の検証
- 実務、運営面での課題の検証
- 設備、ハード面での課題の検証



2. 事業スキーム

- 具体的には、下記のスキームの各段階における課題検証を行いました。
- 食品の提供は、事前説明会や合意書等で文書的な取り決めを行った後に実施しました。



2. 事業スキーム

- 食品の温度帯ごとに管理手法の検討・検証およびモデル化を行いました。
- 温度帯ごとの食品管理の課題を適切に評価するため、モデル化は段階的に実施しました。

常温加工食品 → 管理手法の検討・検証 → モデル化

冷凍食品 → 管理手法の検討・検証 → モデル化

パン等の日配品 → 管理手法の検討・検証 → モデル化

冷蔵食品 → 管理手法の検討・検証 → モデル化



3. フードバンク拠点

- 事業拠点: グリーンコープ連合多の津物流センター
- 食品倉庫の一角をモデル事業用に区分し食品を管理



常温食品スペース

- ▶ 床面積 : 約6坪
- ▶ 食品 : 常温加工食品



冷蔵食品スペース

- ▶ 床面積 : 約3坪
- ▶ 食品 : 冷蔵食品、日配品など / 設定温度 6. 0℃



冷凍食品スペース

- ▶ 床面積 : 約1. 5坪
- ▶ 食品 : 冷凍食品 / 設定温度 -23. 5℃





4. 実施体制

氏 名	役 職 等	担当業務	経歴・資格・経験等
片岡 宏明	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合 常務理事	統括責任者	・グリーンコープ共同体 専務理事 ・グリーンコープ生協ふくおか専務理事 ・社会福祉法人グリーンコープ ファイバーリ サイクル事業部事務局長 ・産業カウンセラー
河嶋 敏秀	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合 常務理事	食品提供企業渉外責任者 食品管理安全衛生責任者	・食品衛生責任者 ・酒類卸売免許販売管理者
城戸 充博	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合 協同地域事業本部 本部長	設備管理責任者 車両の運行管理責任者	・元 社会福祉法人グリーンコープ 抱樸館館長 ・元 グリーンコープ生協ふくおか常務理事 ・元 社会福祉法人グリーンコープ ファイ バーリサイクル事業部事業部長
高橋 陽佑	生活協同組合連合会 グリーンコープ連合 協同地域事業本部 コーディネーター	コーディネーター	・元 特定非営利活動法人ふうどばんく東北 AGAIN 理事・事務局長 ・東北各地のフードバンク団体の立ち上げ支 援、およびノウハウ移転の実務経験を保持
葩島 一匡 (※平成28年度 のみ)	公益財団法人共生地域創造財団 理事	アドバイザー	・元セカンドハーベスト・ジャパン理事(同団体 職員としても4年間の実務経験を保持。)



5. 実施状況

モデル事業での支援先

	企業名	主な食品
1	グリーンコープ連合	青果、加工食品
2	松合食品	醤油等
3	小林甚製麺	乾麺
4	宮島醤油フレーバー	加工食品、飲料
5	ネッツフーズ	加工食品、飲料
6	森光商店	乾麺
7	大成食品	ふりかけ
8	いんま	お菓子
9	リバーグリーン	加工食品、飲料
10	丸紅食料	即席食品、油
11	鳥越農園ネットワーク	玄米
12	生活アートクラブ	玄米
13	豊肥アグリ企画	玄米
14	みのり会	玄米
15	柿木村有機野菜組合	玄米（もち米）

①フードバンク用食品リストを各施設へ照会

②各施設の要望を元に食品を配分

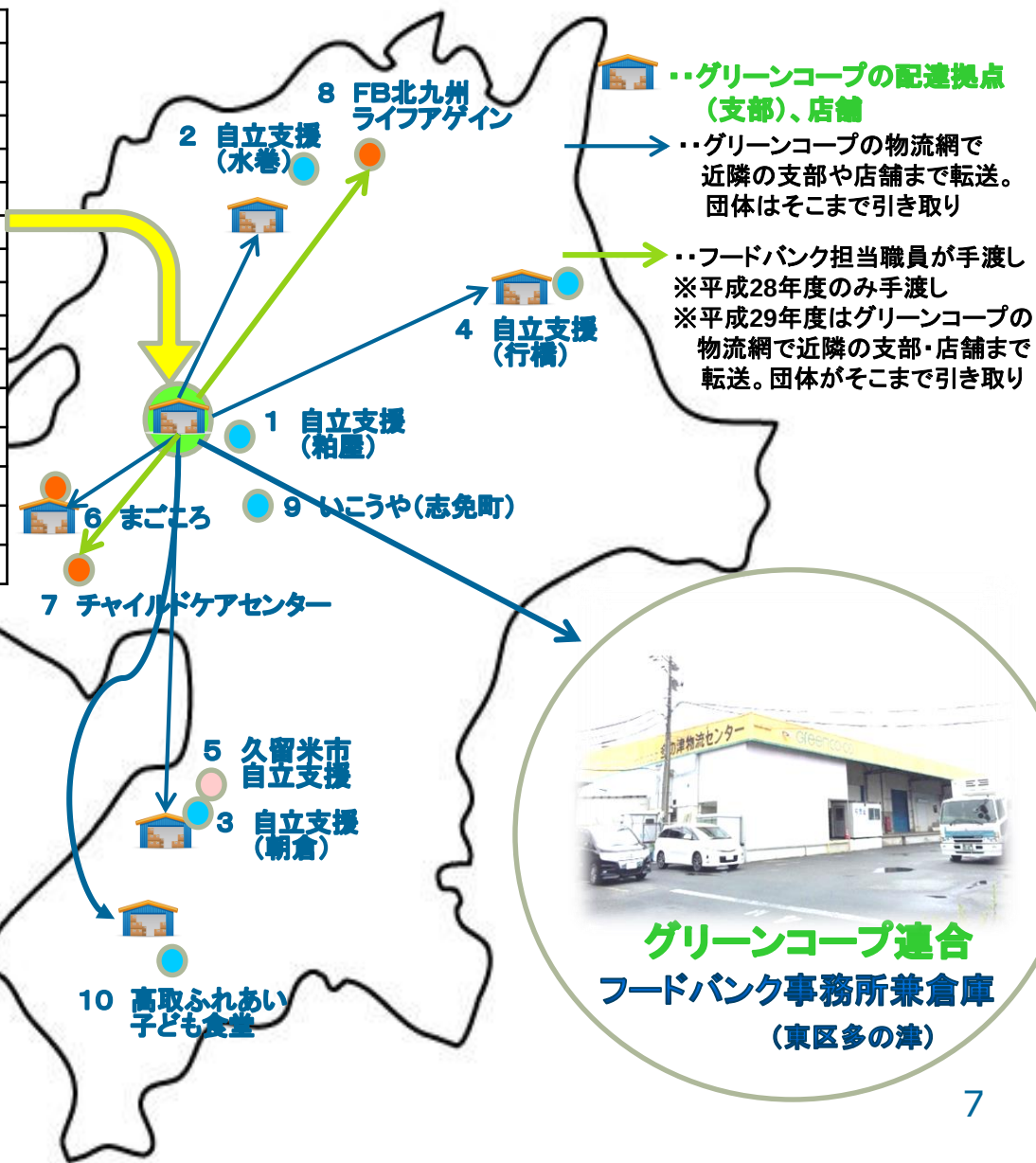
③各施設近隣の物流倉庫等へ転送

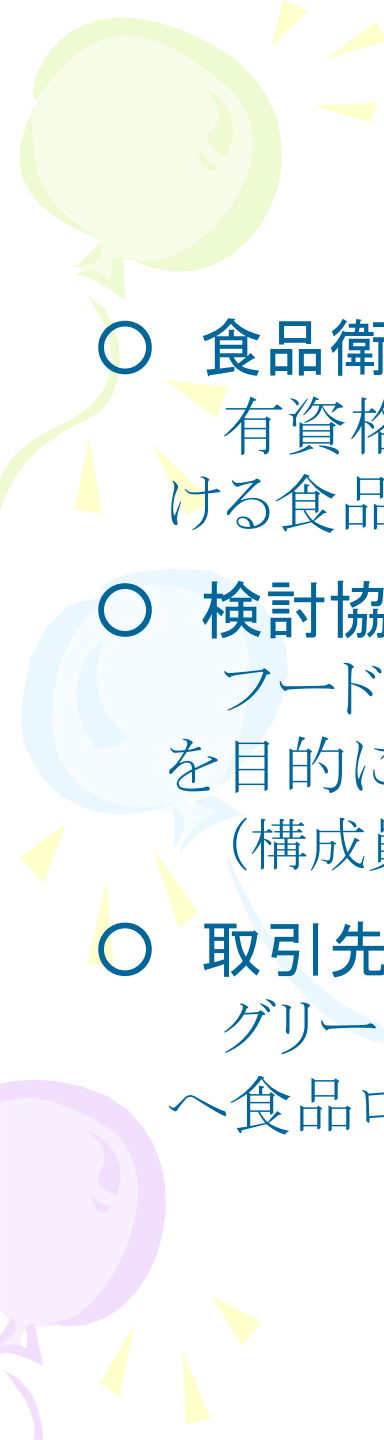
もしくは直接配達、手渡し

・①～③を概ね1回／2週間

・食品受取、調達は企業との調整の上
適宜実施

・必要以上受け取らない、渡さない





○ 食品衛生責任者の配置

有資格者のグリーンコープ連合職員をフードバンク活動における食品安全衛生管理責任者として配置

○ 検討協議会の設置

フードバンク活動の円滑実施、課題解決のための意見交換を目的に運営

(構成員:取引先事業者、食品配布先団体、アドバイザー、県)

○ 取引先へのアンケート実施

グリーンコープ連合と取引関係にある食品事業者(188社)へ食品ロスの発生状況やフードバンクへの提供について照会

●フードバンク活動モデル事業の様子(1/5)

K B C ニュースピア 「モデル事業が始動」



2016年9月20日

●フードバンク活動モデル事業の様子(2/5)

T V Q ハロー！ふくおか県

第83回「食品ロスを減らす新たな取り組み
～フードバンク～」



2016年10月29日

●フードバンク活動モデル事業の様子(3/5)

T N C みんなのニュースふくおか



2016年11月24日

●フードバンク活動モデル事業の様子(4/5)

販売しない食品 配布開始

県モデル事業 フードバンク 生協通じ子ども食堂へ

食べられるのに規格外な津の物流センター、子ども支援施設「まごころ」の提供を受け、福祉施設（福岡市城南区七郎の関）などに無償配布する県の「生協にレトルト食品や生協のフードバンク活動」のモデル事業が今月から始まった。委託を受け、事業を担うのは生活協同組合連合会（福岡市）で、同連合会の物流センターから、自立相談支援事務所や子ども食堂など県内各機関・団体に無償で配布する。モデル事業は本年度いっぱい、担当の責任で行うための課題を模索する。

この日はラベルの汚れた缶のヘタがもつものの中身は問題ない食品約9kgが用意された。

グリーンコープ連合の担当者から食品の説明を受ける（左）も、生協の代表（右）が説明する。

県の「フードバンク」 モデル事業が始動

規格外や納期切れの食品を、賞味期限内に消費される食品を企業などに譲り受け、生活困窮者に提供する「フードバンク」モデル事業が始動した。食品物流のノウハウを持つ生協「グリーンコープ連合」（福岡市）に事業を委託し、食品の提供方法や運営費、ハード面などの課題を確認し、フードバンク活動の県内普及を目指す。

フードバンクは、生活支援と同時に、まだ食べられる食品が廃棄処分される食品ロスを減ら取り回すこともある。県はモデル事業のため今年度130万

支援施設「まごころ」を運営する波多野さん（58）に手渡された。波多野さんは「天変ありがたい。モデル事業が、子供食堂がより広がり、通ずるきっかけになってほしい」と話した。

グリーンコープは、本業で取引のある食品会社など約10社が加工食品や調味料などの提供を受け、当面は県内各地の県立相談支援事務所や子供食堂の運営者（右）に配布する。グリーンコープの高橋佑さん（33）は「課題を解消しながらモデル事業の形が見えるようにしたい」と語った。

（福岡県）

H28.9.20(火) 毎日新聞(朝刊)

食品ロス削減へ新事業

フードバンク活動

規格外品施設などに提供

「食品ロス削減」を推進する中、県は「規格外品」を減らす。規格外品は、賞味期限内に消費される食品を企業などに譲り受け、生活困窮者に提供する「フードバンク」モデル事業をスタートさせた。食品物流のノウハウを持つ生協「グリーンコープ連合」（福岡市）に事業を委託し、普及を進めよう。

（福岡県）

県が生協に委託、普及進める

「ベルにしがた」規格外品は、賞味期限内に消費される食品を企業などに譲り受け、生活困窮者に提供する「フードバンク」モデル事業をスタートさせた。食品物流のノウハウを持つ生協「グリーンコープ連合」（福岡市）に事業を委託し、普及を進めよう。

（福岡県）

西日本新聞、読売新聞、毎日新聞に掲載

●フードバンク活動モデル事業の様子(5／5)





●協同地域事業とフードサポート運動の位置づけ

■ グリーンコープ連合に**協同地域事業本部**を設置

2016年7月1日付け

■ 福岡県リサイクル総合研究事業化センター様からの
委託で**フードバンク活動モデル事業**を実施

■ グリーンコープの**フードサポート運動**推進の一環

ホームレス支援、生活再生支援、抱樸館の運営、災害支援、子ども達の支援などを通して
私たちの生活を取り巻く多くの課題に対して
人と人とのつながりを主体に生命（いのち）を守る運動に取り組んでいます

ご静聴ありがとうございました



平成28・29年度 福岡県食品ロス削減推進事業
フードバンク活動モデル事業実施団体

- ▶ 生活協同組合連合会グリーンコープ連合
多の津物流センター内
協同地域事業本部
- ▶ 福岡県福岡市東区多の津1丁目17 - 2